※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和５年度　（学）国際教養

教科	（学）国際教養	科目	㈱韓国朝鮮語文化研究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

韓国の言語と文化に触れることで世界観を広げることを目標とします。韓国は日本と関わりの深い国であり、歴史的にも文化的にも影響の大きな国です。身近な国のことを学ぶことで日本という国のことを考えるきっかけにしてください。

２　学習の到達目標

・ハングル文字を習得する。韓国語の基本的な文法の知識や、簡単な会話の技能を身につける。
・韓国語を用いて様々な内容を表現する力を養う。
・主体的に韓国の生活様式、食文化、歴史、美術についての理解を深めるとともに、日本と韓国との関わり方を考える態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・韓国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるアウトプットやコミュニケーションの場面に応じて、適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う状況や目的に応じて、日常的な話題、時事問題や社会問題について、韓国語で情報や考えを理解し、また相手に伝える事ができる。	・韓国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手を尊重し、配慮と思いやりを忘れず、自分の発信する情報に責任を持ちながら、主体的・自律的に韓国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1～3	韓国・朝鮮語の特徴	a: 韓国語の音声の基本的な特徴を理解している。韓国語の文法を身につけ、簡単な文章を作成することができる。 b: 韓国の文化や習慣について，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 c: 積極的に韓国語を使おうとする姿勢を見せるとともに、韓国の文化を理解しようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
	4～17	基本母音 1～3 複合母音 1～2 パッチム 発音の変化				
2学期	18～20	指定詞　1～2				
	21	挨拶・自己紹介				
	22～27	韓数字・固有数字 会話体（指定詞・存在詞）				
3学期	28～30	動詞・形容詞				
	31～32	会話体（動詞・形容詞）				
	33	過去形				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度